

令和7年度 ジュニアリーダー企画会⑥ 最終回記録

日 時: 令和8年1月25日(日)
10時00分～ 会議室

1 館長あいさつ

・館長より労いの言葉

参加者8名
※オブザーバー
阿部先生
橋本先生

2 感謝状授与(企画員 9 名)

・8 名に授与

(※おこば体調不良のため欠席。2/22 のずんだ定例会で配布予定)

3 両催事(11/9、12/14)についてアンケート集計結果報告

・11/9 について添付1

講師コメントも言及

・12/14 について添付2

講師コメントも言及

4 今年度(12/14)の振り返り (たまでいー進行)

●りうめ…皆さんお疲れさまでした。広報、新聞紙プール担当。いろんな人とコミュニケーションを取りたかったが、思うようにいかなかった。また、直前になって材料がないことに慌てた。改めて事前準備がいかに重要か分かった。

●ゆしえる…もぐら担当。人員の入れ替わりのタイミングを把握していなかった。交代するタイミングが悪かった。ブース内での役割分担が上手にできなかった。コミュニケーションが足りていなかった。混雑時とそうでないときの差が大きかった。積極的に声がけしておけばと反省。

●タイヨウ…空気砲担当。シュミレーション不足から本番が上手に対応できなかった。ペットボトルの堅さや空気圧の強弱など。新聞紙プールがとても盛り上がっていた。準備の際、卓球で使用する防球フェンスが金属製であったため一工夫必要となった。事前に確認が必要だったと思う。また、巨大迷路の準備と撤収作業がとても手際よかった。

●あき…魚釣り担当。自分の区(太白区)の備品で愛着があった。ブースの中では一番静かだったように思う。沈黙を嫌い、一人でずっと話したり、BGM を流したりしたが、独りよがりになってはいなかったか疑問。こどもたちと話しながら対応できたのはよかった。事前の準備不足もあったが、このメンバーであったからこそ、何とか乗り切れた。スタンプラリー対応の際に、どの参加者のものかわからなくなってしまい混乱した。

●ななはち…当日はギネスに挑戦担当。ジュニアリーダーになったばかりなので、経験は少ない。みんなに迷惑をかけた。困った(対応に苦慮する)人がいた場合、報告はしたものの、どう対応したらよいのか…自信が持てない。

●あんこ…全体の統括担当。前述の一人一人にコメント！！

・りうめ→とても上手に対応できていた。自省の必要ないのでは？

ゆしえる→12/14 はじめて会うジュニアリーダーもいる。対応のすり合わせは難しかったかもしれない。企画員がリードして情報共有を図りたい。ゆしえる自体はしっかり振り返りできているので良いと思う。

・タイヨウ→事前の準備不足と反省していたが、担当していた空気砲の準備は、企画会の中でやるべき。企画会では、打合せに時間を取られてしまったが、作業の時間を取れるよう配慮すべきであった。

・ななはち→経験は少ないかもしれないが、それを補う本人のがんばりがある。ジュニアリーダーにとって、一番大事なものの(心)を持っていると思う。

・本人の振り返り→打合せの時間が限られている中、終始話し合いで終わってしまった。準備物を一緒に拵える時間も設けられれば良かった。共同作業の中でしか体得できない事もある。また、巨大迷路コーナー近くで、荷物とこどもを放置している保護者が見受けられ、手に負えないので職員へ対応をお願いした。ジュニアリーダーは、要請先からの要請に応えるのが第一だが、自分たちで解決できそうにない問題に直面した時に、いかに周りの力(大人の力)に頼ることができるかも大事な判断だと思う。遠慮しないで周りに応援を頼もう。責任感からくる無理な対応を避けて、勇気をもって大人の指示を仰ごう。

●アユ…全体の統括担当。全体の調整に苦労した。各自、コーナーの運営に必死に取り組んでいた。とても良かったのではないかな？また企画会議では、1人1人がしっかり意見を出しながら進めることができた。

●たまでい…皆さん。企画会に入ってくれてありがとう。去年は実質2人で運営していたが、今年は9名で運営することができた。我々ジュニアリーダーは頼って、頼られてよい存在なのだ。荷物放置の件は大人の力を借りて OK。空気砲は準備不足を反省。先生からの受け売りで恐縮だが、「場数が人を作っていく」ので、みんなには今回の経験を今後の活動につなげてほしいと思う。

●阿部先生…とても忙しい時期に活動できたことは、誇りに思っていると思う。お疲れさまでした。学区も学年も異なる企画会って素敵だなと思いました。高校生は高校生の、中学生は中学生のそれぞれの気づきや学びがあったと思う。情報交換できてとても有意義であったと思います。また、アンケートの集計をみるとみんなの頑張りがとても評価されていました。励みになりますね！

●館長…事前準備の大切さという言葉が何度か出てきたが、その重要性は言うに及ばず。身をもって体験したのではないかな。これから皆さんが世の中に出たときに、さらにその重要性が理解できると思います。分担に関して、人はそれぞれ持ち味、得意・不得意分野がありますので、それを活かして役割分担を決めると良いと思います。場数の話ですが、場数を踏めば実践力が養成されて、今までにはない「直感」が働くようになる。そうなれば、いろんなシーンでも臨機応変に対応できるようになる。ぜひ場数を踏んで成長してほしい。

5 次年度に向けて

事務局より

①費用対効果について

今回の事業にかかった費用と人員を伝え、いろんな人が関係して事業が成立していることを説明した。そのうえで、次年度どのようにして事業を構築するのか考えて欲しいとお伝えした。

②事業の在り方について

ずんだを母体にした企画員は、教育局生涯学習支援センターとの関わりが強い。一方で、本事業の直接的な管轄は宮城野区中央市民センターである。教育局支援センター、区の中央、当センター、ジュニアリーダー関係者全員が納得いく形で事業を進めていきたい。

ジュニアリーダーより

時間が押して、次年度に向けての具体的な話はできなかった。

次年度早々に動き出すことを確認し、散会となった。

6 その他

- ・12/14 の催事に際して、企画員には図書カードの謝礼支払いがなかったこと等を踏まえ、企画員や協力員から提供していただいた菓子類は、企画員で均等に分けることになった。
- ・令和8年度の企画員募集のチラシを、令和7年度企画委員会で作成することとなった。
(窓口はたまでいーなので、令和8年度動き出す前に確認が必要)

以上

担当者より

今年度、皆さんの力で2つの事業を実施することができました。

定例会や研修会の合間を縫って、準備や運営にお力添えいただいたこと、感謝申し上げます。

また、準備や運営等でご心配・ご負担おかけしましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。

令和8年度も引き続き、皆様のご支援・ご協力よろしくお願いいたします。